

令和4年度 第11回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日時 令和5年2月1日(水) 13:30~15:05

2 場所 大学本館2号館 多目的ホール

3 出席者(15名)

学内: 藤野(昭)、中山、齋藤、長田、足立、矢寺、立石(和)、庄司、東、藤野(善)、樫本
学外: 櫻井、安元、田中、玉城

欠席者(1名)

学内: 大松
学外: なし

4 報告事項等

(1) 令和4年度第10回迅速審査小委員会について

齋藤委員長から、1件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした。その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(2) 令和5年度倫理委員会開催日程(案)について

事務局から、資料に基づき説明があり、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(3) 令和4年度「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理講習会」の開催について

事務局から、3月20日(月)及び22日(水)にラマツィーニホールにて開催予定であるとの報告があった。

(4) 倫理審査デジタル申請システムについて

事務局から、次のとおり報告があった。

- ① e-ラーニング形式の説明会及びマニュアルの配付を3月に実施する予定であること。
- ② 令和5年4月1日からデジタル申請開始予定、令和5年3月31日までは現状の申請方法(紙媒体)での受付となること。
- ③ デジタル申請開始後は、紙媒体の授受が原則不要となること。
- ④ デジタル申請開始に伴い、倫理審査研究計画書等の様式が変更になること。
- ⑤ 講習会受講証明書、eAPRIN修了証、利益相反判定書の紙媒体での提出が不要となること。
(倫理審査申請資格要件としては、現状どおり必須である。)

5 審議事項等

(1) 令和4年度第10回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請(迅速審査)

- ① 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 准教授 村松 圭司

研究課題名: メンタルヘルス疾患を理由に長期休業した労働者における休職中のリワーク利用と復職後再休職との関連についての研究
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

(2) 新規申請

- ① 研究責任者: 産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 樋上 光雄
研究課題名: 化学物質の危険有害性への対処方法に影響を及ぼす要因調査
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 d) 評価項目 d)-1 主要評価項目 (プライマリーエンドポイント) 「化学物質への対処方法に影響する」とあるが、「化学物質への対処の有無に影響する」と修正する。
5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等
選択基準に「作業者もしくは管理者」と追記し、「4. 1) b) 研究の具体的方法」と統一する。参加される方への説明文書についても同様。
7. 実施事項等における倫理的配慮 2) 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障
同意の取得、同意撤回の申告があった場合の対応等については全てアンケート調査会社が担当する旨を追記する。
10. 研究対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法
アンケート調査会社から Excel ファイルの状態を受け取る情報について、USB に入れて保管し、PC 上には置かないことを追記する。

秘密保持契約書

第3条

「…秘密情報を、原則として本検討を…」とあるが、例外があることを前提とした「原則として」という表現を削除、またはその例外を明記する。

- ② 研究責任者: 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 原 邦夫
研究課題名: 化学物質事故時に対する人々のリスク回避行動に影響する要因の特定
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景 他
「化学物質事故」と「化学災害」という表現を統一する。
7. 実施事項等における倫理的配慮 1) 研究対象者に理解を求め、同意を得る方法
「アンケート調査用紙」とあるが、web 調査であるため改める。説明文書についても同様。
7. 実施事項等における倫理的配慮 2) 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障
アンケート調査会社のパネルが対象者であれば、アンケート調査会社と連携することで同意撤回も可能ではないかと考えられるため、先方と調整の上、必要に応じて修正する。

アンケート

- ・冒頭に研究責任者について追記し、一般住民を対象とした調査であるため、化学物質の定義及び化学災害の例を補足する。また過去に経験した化学物質事故に関する質問内容であることを追記する。
- ・設問 6. に「工場付近」という表現があるが、具体的にどれくらいの距離なのかを明記し、回答者にわかりやすいよう、範囲を表示した地図等を添付する。
- ・選択肢に「わからない」や「化学物質による」を適宜追加する。
- ・文末の「ご協力」を「ご参加」と改める。

- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名： 個人間の競争心理とチーム内チャットによる励ましあい運動に及ぼす促進効果の評価
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 研究参加者の選定方針 1) 募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等
募集方法について、掲示板にポスター等を掲示する旨を追記する。
7. 実施事項等における倫理的配慮 2) 研究参加者の自由な選択と同意撤回の保障
参加でも不参加でも成績には影響しない旨を明記する。説明文書についても同様。
8. 個人情報等の取り扱い方法
チャットを用いるが、LINEの公式グループを設置し、匿名性を保っている旨を追記する。説明文書についても同様。
16. 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続き方法及び 17. インフォームド・アセントを受ける場合の手続き方法
短期大学生が対象であり、未成年者は含まれないため、記述を改める。

参加される方への説明文書

5. 研究の方法について
研究者の方で対象者をグループ分けする旨を追記する。また対象者を4群にわけ、介入の有無による差を比較するため、自身がどの群に属しているかは他の参加者に明かさないうこと、第3期の対象群、介入群①所属者においてはチャットは禁止であることを追記する。

- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名： 我が国における労働災害・安全文化に関する実態調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景
研究課題名にある「安全文化」について、注釈を追記する。

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法
「2022年3月以降」を「2023年3月以降」と改める。

参加される方への説明文書

15. 研究により得られた結果等の取扱いについて
「海外への提供：あり」とあるが、どのような場合に提供するのかを追記する。

- ⑤ 研究責任者： 医学部 放射線科学 教授 青木 隆敏
研究課題名： トランスサイレチン型心アミロイドーシスの定量的イメージングバイオマーカーとしての心臓 MRI parametric mapping (T1・T2 mapping) の検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

2. 実施体制

記載内容を単施設研究から多機関共同研究の内容に改める。

12. 研究費の資金源と利益相反 1) 研究資金について
「経費は発生しない」とあるが、何かしら経費は発生すると考えられるため、確認の上、必要に応じて修正する。

(3) 新規申請（中央一括審査）

- ① 研究責任者： 産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 藤田 裕樹
研究課題名： 人工知能を用いた画像改善に関する後ろ向き研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(4) 新規申請（中央一括（変更）審査）

- ① 研究責任者： エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
研究代表機関： 国立研究開発法人 国立環境研究所
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名： 我が国における働く人の仕事と健康に関する実態調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査 ー妊娠中に燃料系物質取り扱い業務に従事した母親から生まれた児の1歳時までの喘息様症状出現の研究ー
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ③ 研究責任者： 災害産業保健センター 助教 五十嵐 侑
 研究課題名： 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を有する労働者の就労支援に関する調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
 研究課題名： ベリリウム製造または取り扱い作業場におけるばく露実態調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
 研究課題名： 暑熱環境下におけるヘルメット型発汗量計測デバイスによる運動時発汗量の測定
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 研究責任者： 医学部 第3内科学 教授 原田 大
 研究課題名： 肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究：SURF trial 付随研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

(1) 研究終了報告 56 件、進捗状況報告 28 件が承認された。

< 終了報告 >

- R2-080 研究責任者： 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦
 研究課題名： 日本における AED および AED 機能付き除細動器に関する現状調査
- R2-044 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： ストレスチェック後の高ストレス者に対する医師による面接指導に関する産業医に対するインタビューによる実態調査
- R2-069 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： テレワーク等を新しい働き方に対応したストレスおよびメンタルヘルス対策への提言と好事例集の作成
- R2-076 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： ストレスチェックの集団分析に基づく職場環境改善の促進を目的とした調査項目の開発：コンピュータ適応型テストのインターフェースに関する面接調査
- R1-002 研究責任者： 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
 研究課題名： タイ労働者の尿中ならびに血清中の有害物質曝露マーカーの測定
- R3-005 研究責任者： 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
 研究課題名： 糞便中アセトアルデヒド検出法の開発

- R1-058 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：職域におけるプレゼンティーズム評価によるスクリーニングと事後措置介入の効果に関する前後比較試験
- R2-050 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：審査員向けアンケート調査
- R2-054 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：監査機関向けインタビュー調査
- R3-012 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：OHSMS に関する力量がある産業保健専門職によるフォーカスグループディスカッション
- H25-081 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：企業内におけるメンタルヘルス研修結果のフィードバック手段に関する検討
- H25-118 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名：昇進が健康に及ぼす影響に関する疫学研究
- H25-195 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名：CSR(企業の社会的責任) 関連報告書に記載する労働安全衛生に関するアンケート調査
- H26-088 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：メンタルヘルス不調における回復過程の調査
- H26-119 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：人間工学に関する参加型職場改善プログラムの効果の検証
- H26-161 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：保健指導の質の管理に関する内部監査員研修の効果の検証
- H26-220 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：「作業条件の簡易な調査」の標準的な実施および活用方法に関する研究
- H26-238 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：生活記録表を使用した復職支援の実態に関するインタビュー調査

- H27-002 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：身体疾患患者の仕事と治療の両立に関するインタビュー調査
- H27-111 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：事業所無作為割付を利用した、メンタルヘルス不調により休職した労働者の職場復帰に対する生活記録表の効果の検証
- H27-167 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：産業医による主治医への診療情報提供依頼書の記載事項に関する検討
- H27-168 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 梶木 繁之
研究課題名：メンタルヘルス不調により休職した労働者の職場復帰に対する生活記録表の利用状況に関する実態調査
- H29-057 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 助教 永田 昌子
研究課題名：ストレスチェックの受検率や結果利用の同意に関する現状調査
- H29-249 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 助教 永田 昌子
研究課題名：一般健康診断における有所見及び事後措置、特定業務従事者健康診断のあり方、既往歴の情報収集についての概念整理に関する研究
- H29-256 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 助教 永田 昌子
研究課題名：自覚的な労働生産性と客観的指標の相関の検討
- 09-017 研究責任者：産業保健学部 人間情報科学 准教授 江口 泰正
研究課題名：インターバルトレーニングが生活習慣病及び酸化ストレス防御系に及ぼす影響
- 10-119 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：職場、特にサービス産業従事者における受動喫煙曝露による生体影響の検証
- H23-44 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：酸化ストレスとその防御系とのバランスに着目したステップ運動の労働適応能力に及ぼす効果：職場におけるクロスオーバー試験
- H23-53 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：Sense of Coherence (SOC:首尾一貫感覚) と心身の健康増進との関連についての研究
- H23-71 研究責任者：産業保健学部 人間情報科学 准教授 江口 泰正
研究課題名：職場体操の実態とその効果に関する研究

- H24-076 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：某 IT 企業における首尾一貫感覚と職業性ストレスが労働適応能力に及ぼす影響：断面調査と経時的調査
- H24-098 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：白色脂肪の褐色脂肪化に作用する「Irisin」の発現増加に寄与する運動の種類と心血管リスクとの関連性の検証
- H24-193 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：職域における生活活動量の増加が健康に及ぼす効果についての調査
- H25-033 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：慢性的な寒冷曝露下での身体活動の有無によるイリシン発現の違い：パイロット調査
- H25-073 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：運動によるイリシン発現の検討：パイロット調査
- H25-085 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：個の脆弱性を加味した労働適応能力向上・欠勤率抑制のための職場環境改善項目の探索的研究
- H25-089 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：喫煙・受動喫煙が職場の生産性・収益ならびに労働者の健康面および医療費等に及ぼす影響に関する研究
- H26-052 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：労働者の健康増進に理学療法士が関与することの意義 -交代勤務を有する看護師を対象とした無作為化比較対照試験-
- H26-053 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：心臓血管外科術後患者の在宅運動療法の検討
- H26-054 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：心疾患患者の復職状況と運動耐容能の関連
- H26-146 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 准教授 太田 雅規
研究課題名：スマートフォンを利用した心血管系指標の測定の確認とそれを利用したオーダーメイド型運動処方システムの開発および効果の検証
- H26-178 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 姜 英
研究課題名：禁煙による特定保健指導に係る費用の削減効果及びその削減効果の情報をを用いた介入研究
- H26-235 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：喫煙と業務中の怪我との関連

- H28-043 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 姜 英
研究課題名：生活習慣・健康診断・レセプト情報の突合分析による将来の医療費の予測システムの開発
- H28-049 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：勤労世代の呼吸機能に関連する身体組成や生活習慣の検討
- H28-050 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：リハビリテーション関連職種に対する腰痛予防介入が腰痛有訴率や職業満足度に与える効果
- H28-051 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：看護師における非特異性腰痛の有訴率と危険因子の把握、および多面的介入における効果の検討
- H28-137 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：喫煙室のポスターによる教育効果、禁煙企図の改善、喫煙率減少効果、職場の受動喫煙対策の推進を評価する介入研究
- H29-075 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 道下 竜馬
研究課題名：旅客運送業におけるアクティブレストの導入が労働者の対人関係、メンタルヘルス、身体活動量、腰痛、労働生産性に及ぼす効果
- H30-037 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 助教 西山 信吾
研究課題名：休憩時の運動介入による、自律神経バランスとメンタルヘルスに対する改善効果の検証
- H30-042 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 助教 西山 信吾
研究課題名：競争原理を生かした職域への運動介入が、労働者のメンタルヘルス、労働意欲、労働生産性に及ぼす効果
- H30-057 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：肺癌周術期就労患者の復職に関する探索的研究
- H30-064 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：持続血糖測定器でモニタリングしたグルコース値の推移による運動の種類と介入のタイミングに対する効果の検証
- R3-090 研究責任者：産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名：Social Networking Service (SNS)による励ましと競争が身体活動量に与える効果の検討
- セ H23-10 研究責任者：エコチル調査 特任准教授 柴田 英治
研究課題名：環境化学物質が胎盤栄養素輸送機能に与える影響に関する研究

H30-105 研究責任者：エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名：子どもの健康と環境に関する全国調査 -健康に生まれた正期産児の1歳時発達に影響を与える因子の解析-

<進捗状況報告>

R1-056 研究責任者：エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名：子どもの健康と環境に関する全国調査 -妊娠中に燃料系物質取り扱い業務に従事した母親から生まれた児の1歳時までの喘息様症状出現の研究-

R2-006 研究責任者：エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名：子どもの健康と環境に関する全国調査 -両親の出産時年齢が子どもの1歳時の発達に与える影響の検討-

H25-202 研究責任者：医学部 第3内科学 助教 大江 晋司
研究課題名：ジクロフェナク坐剤による内視鏡的逆行性胆管膵管造影後膵炎の発症予防に関する検討

H29-098 研究責任者：医学部 第3内科学 教授 原田 大
研究課題名：慢性肝疾患における、微量元素と肝障害パラメーターとの相関及び、亜鉛投与によるその臨床的意義についての検討

H28-250 研究責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究

H26-239 研究責任者：産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
研究課題名：酸化ストレスマーカー唾液中 8-OHGuo に及ぼす生活習慣、労働条件の影響

R1-037 研究責任者：産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
研究課題名：喫煙、受動喫煙の健康影響評価を目的とした尿中バイオマーカーの測定

R3-016 研究責任者：産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
研究課題名：生活習慣が酸化ストレスマーカー尿中 8-ヒドロキシグアノシンに及ぼす影響

R3-011 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：産業医のキャリアパスに関するインタビュー調査

R3-076 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：我が国における働く人の仕事と健康に関する実態調査

R2-031 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究：インタビュー調査と事例収集

- R2-035 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：がん薬物療法専門医を対象としたがん患者の治療と仕事の両立支援に関する意識と医療提供体制の現状に関する調査
- R2-070 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：小規模零細事業場の構成員に必要な支援を効率的に提供するツールと仕組みを通してメンタルヘルス対策を浸透させることを目指す実装研究
- R3-037 研究責任者：産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 准教授 池上 和範
研究課題名：インターネット調査による労働者を対象とした産業保健課題（産業保健体制、両立支援、職場の感染症対策）に関するコホート調査
- R2-020 研究責任者：災害産業保健センター 教授 立石 清一郎
研究課題名：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の産業保健職の対応に関する調査
- R2-021 研究責任者：災害産業保健センター 教授 立石 清一郎
研究課題名：企業及び医療機関の両立支援に資する研究
- R2-088 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 田口 要人
研究課題名：職場で上司と部下が定期的に行う1対1ミーティング(1on1)の効果に関する研究
- R2-084 研究責任者：IR推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名：ストレスチェックの集団分析に基づく職場環境改善の促進を目的とした調査項目の開発：コンピュータ適応型テストの使用感に関する質問紙調査
- R3-014 研究責任者：産業保健学部 人間情報科学 准教授 江口 泰正
研究課題名：市販の電解質飲料摂取が暑熱下活動時の身体変化に及ぼす効果
- R1-035 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：加熱式タバコを含むタバコの使用実態と認識に関するWEB調査
- R1-053 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：放射線管理区域に立ち入る医療従事者の個人被ばく線量計装着実態調査
- R1-054 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：放射線管理区域内で検査を行う医療従事者の放射線被ばく線量実態調査に関する後ろ向き観察研究
- R2-039 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：産業医科大学病院における放射線業務従事者の水晶体調査

- R3-053 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 櫻田 尚樹
研究課題名：医療施設における労働者の放射線被ばく管理の状況や問題点の把握と効果的な改善策の策定
- R2-087 研究責任者：産業医科大学病院 就学・就労支援センター、両立支援科
両立支援コーディネーター、看護師 細田 悦子
研究課題名：ストレスマネジメント・ガイドブックの活用状況の実態調査
- R3-002 研究責任者：産業医科大学病院 就学・就労支援センター、両立支援科
両立支援コーディネーター、看護師 細田 悦子
研究課題名：医療機関の多職種連携による包括的な治療と仕事の両立支援に関する実態調査
- H29-099 研究責任者：産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 永元 啓介
研究課題名：耳小骨 CT 検査における撮影法や画像再構成法の違いが画質及び放射線被ばく線量に与える影響に関する後ろ向き研究
- R3-041 研究責任者：産業保健学部 基礎看護学 教授 立石 和子
研究課題名：在宅療養高齢者のフットケアプロトコルの開発ープロトコール原案の検討ー

(2) 倫理審査研究計画の移行申請 2 件が承認された。

- H29-155 研究責任者：医学部 第 2 内科学 学内講師 岩瀧 麻衣
研究課題名：3 次元心エコー図法を用いた二次性左室リモデリングによる僧帽弁逸脱の偽正常化の研究
- セ 08-05 研究責任者：医学部 第 2 外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：肺癌患者における上皮増殖因子受容体(EGFR)とその関連遺伝子の変異の解析